

加硫促進剤のビンキュアー性について (5)

加硫促進剤を単独で配合した配合ゴムの貯蔵安定性について紹介してきた。今回は、CZとチウラム系加硫促進剤を併用した場合について紹介する。図1にCZにチウラム系を併用した配合ゴムを40℃で放置したときのtc(10)の変化率を示した。また、加硫曲線は図2から5に示した。CZにチウラム系を併用することによって若干加硫が速くなるが、加硫曲線に大きな変化は無い。

実験

1. 配合

SBRカーボンマスターバッチ※ 228, 酸化亜鉛 5, 硫黄 2, CZ 1, チウラム系 0.5 ※JSR, CH-55

2. 配合ゴムの貯蔵安定性試験

40℃の恒温槽中に配合ゴムを所定時間放置後、加硫試験を実施した。MDR2000, 160℃

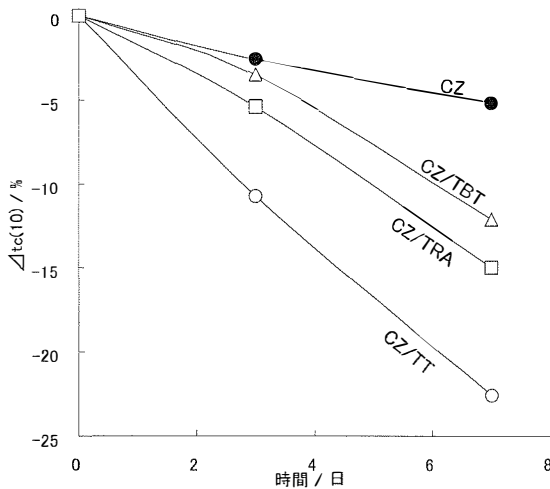


図1 配合ゴムの40℃放置後におけるtc(10)の変化率

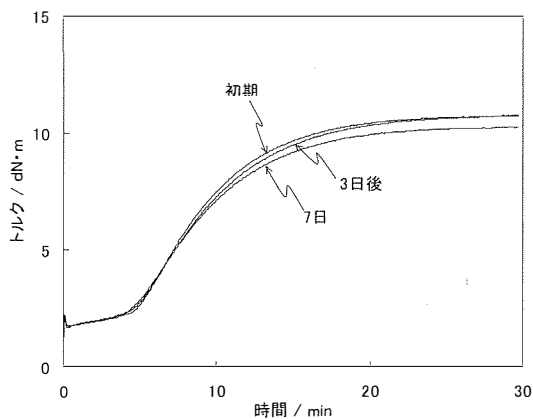


図2 CZ配合ゴムのビンキュアー性

ここに記載した内容は、細心の注意を払って行った試験に基づくものでありますが、結果をすべて確実に保証するものではありません。

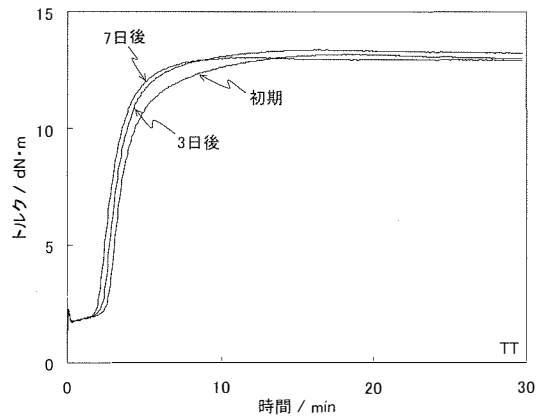


図3 CZ/TT配合ゴムのビンキュアー性

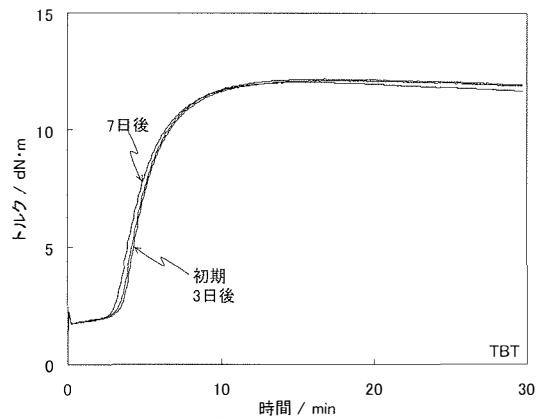


図4 CZ/TBT配合ゴムのビンキュアー性

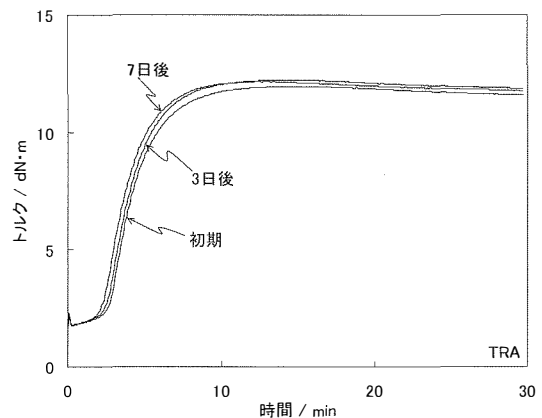


図5 CZ/TRA配合ゴムのビンキュアー性